

カウコンフォートを考えた理想の牛床用マット

デンマークREXLAN EUROPEより

ボビレックス

これまでにない

軽量
15kg

を実現!!

日本の牛舎に最適な幅広サイズのマットができました!

ボビレックス JOU

ボビレックスが
もっとよくわかる特設サイトはコチラ

設置方法の映像や
導入事例を紹介!



<https://yptech.co.jp/lp/>



写真:デンマークの牧場での設置事例

取付器具
(プラスチックマウントバー)



牛が滑る危険度が減少し、斜めに寝ることが少なくなる特別なプラスチックを使用。

プラスチックマウントバー



断熱・保温効果

ボビレックスは、80%以上のエアを含み、軽量で断熱・保温効果に優れている。

カウコンフォートおよびアンチスリップ効果

牛が横臥や立ち上がる時に、良好なフットホールドを作る。



一体型のEVA製品ですので...

- 柔らかく厚みのあるマット、牛の外傷や関節痛が少ない。
- 製品が均質で耐久性に優れている。
- 水分を吸収しない。



大切に育てたい、和牛・繁殖雌牛にも最適



子牛の保温用マットとしても最適



特徴

【断熱・保温効果】

ポビレックスは、80%以上のエアを含み軽量で断熱効果があり、保温性に優れています。また、耐久性が非常に優れています。



【カウコンフォートアンチスリップ効果】

ポビレックスは衝撃を吸収し、柔軟性があるので牛が横臥や起立するときに、良好なフットホールドを形成します。牛がマット上ですべることへの恐怖心がなくなり、飛節の損傷、蹄病や乳房損傷が減少します。



【衛生効果】

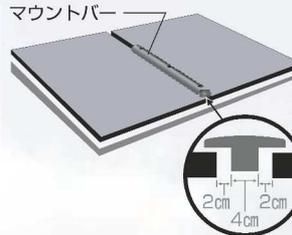
ポビレックスは水分を吸収しないので牛床、および牛舎内を清潔に保ちます。またマットの裏側には多くの突起があるので、これにより裏側の通気性が良くなり、バクテリア等の増殖を防ぎます。



【保管上の注意事項】 直射日光の当たらない所で乾燥・保管してください。

取付け方法

ポビレックスは特別なプラスチック製の取り付け部品(プラスチックマウントバー)を使用して設置するのが特徴です。マウントバーを設置することによって、ワラやオガコなどの敷料クズがマットの下に入りづらくなります。また、牛がスリップする危険度が減少して、斜めに寝ることが少なくなります。



施工例

プラスチックマウントバーでの施工



仕様

■ポビレックス	幅117cm×長さ190cm×厚さ3.8cm 重量 約15kg
■ポビレックスJOU	幅132cm×長さ180cm×厚さ3.8cm 重量 約16kg
■プラスチックマウントバー	
120cm	長さ120cm(マット面からの)高さ2cm 重量 約6kg
160cm	長さ160cm(マット面からの)高さ2cm 重量 約8kg
180cm	長さ180cm(マット面からの)高さ2cm 重量 約9kg

※「ポビレックス」および「ポビレックスJOU」はエアを80%以上含んでいますので、若干の伸びが生じます。

製造元  REXLAN EUROPE (デンマーク)

輸入
発売元



株式会社 **ワイピーテック**

<https://www.yptech.co.jp/>



三洋貿易グループ

本 社：東京都千代田区大手町1丁目6-1 大手町ビル3階 TEL.03-3214-7330 FAX.03-3214-6731
 帯広営業所：北海道帯広市東一条南一丁目一番地 東1条ビル3階C号
 福岡営業所：福岡県福岡市博多区中呉服町1番5号 祐徳ビル1号館5階

取扱店

【販売店】

全農畜産サービス株式会社
 資材・大家畜事業部

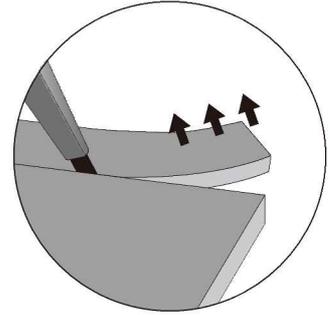
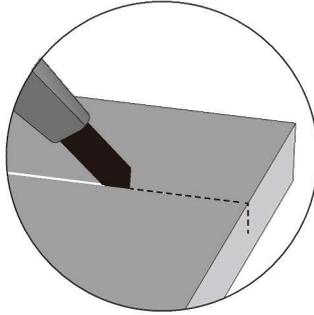
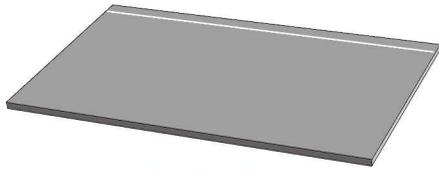
〒135-0041 東京都江東区冬木11番17号
 TEL：03-5245-4871 FAX：03-5245-2424

牛床用マット

ポビレックス

設置手順書

1
切断



チョークなどで切断箇所に印をつける。

※マウントバーを使用する場合は牛床の幅より80mm短く切断する。
※マウントバーを使用しない場合は牛床の幅より40mm短く切断する。

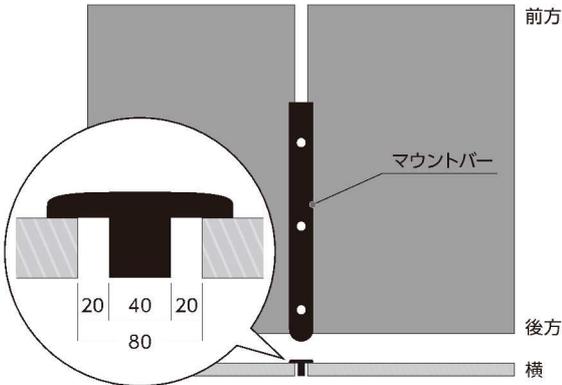
カッターで厚みの半分程度の切込みを入れる。

刃先を伸ばし、反対の手で切断済部分の隙間を開きながら切る。

切断が終わったら

マウントバーを使用する場合

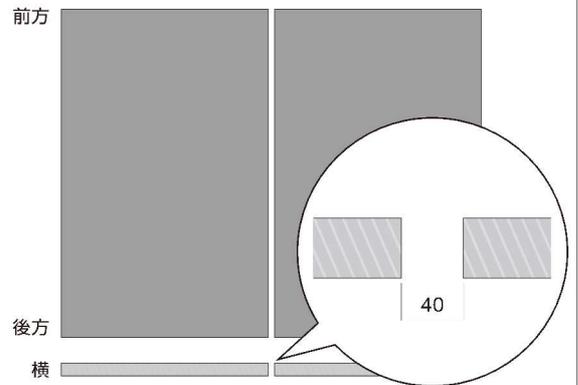
隣接するポビレックス間の隙間を80mm作り、その中央の後方端に合わせてマウントバーを置く。



2
配置

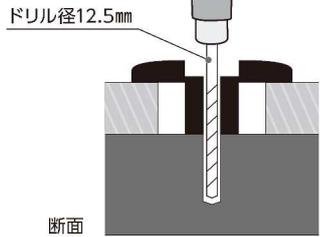
マウントバーを使用しない場合

隣接するポビレックス間の隙間を40mm作り、ポビレックスを配置する。



3
ドリルで
穴あけ

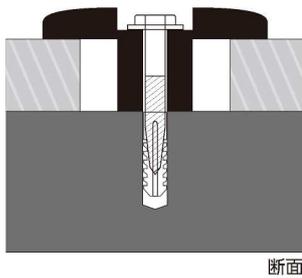
マウントバーを置いたままハンマードリルで牛床に穴を開ける。



4
ボルトで
固定

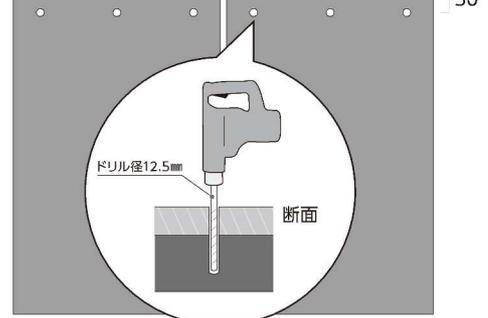
仮組みしたステンボルト、アンカー、ワッシャーをマウントバーの穴にセットする。マウントバーがポビレックスに少し沈むくらいを目安に、ステンボルトを3カ所均等に締める。

※1枚ずつ固定するのではなく、牛床にある程度の枚数のポビレックスをセットした状態で固定していくのが望ましい。



前方に3カ所、ポビレックスの上から直接ハンマードリルで穴を開ける。

※マットの端から約50mmの位置に穴を開ける



仮組みしたステンボルト、アンカー、ワッシャーを3カ所の穴にセットする。ボルトの頭がポビレックスの表面より少し沈むくらいまで、ステンボルトを締める。

